

2023年9月6日(水)水曜祈祷会デポーション

ルツ記3章1～18節

『身の落ち着き所』

■ ルツ記2章1～23節 『御恵みを惜しまない主』

1. 主はルツとボアズを、「はからずも」「ちょうどそのとき」という出会いに導かれた。
2. ボアズはひたむきなルツに対する主の報いとして、彼女に特別な便宜を図った。
3. ナオミはルツがボアズと出会い、よくしてくれた話しを聞いて、神の導きを確信した。

本論:『身の落ち着き所』 \*ルツ記3章を読んで答えましょう

1. 「ナオミの決断」(3章1～5節) \* 姑のナオミは、嫁のルツの幸せを第一に考えていた。

① ナオミは幸せそうに働くルツと親切なボアズのことをどう思っていたのでしょうか。

→

② ナオミはルツに大胆な提案をしますが、それは何を意味していたのでしょうか。

→

③ ルツはナオミの提案を聞いてどう思いましたか。

→

2. 「ルツの決断」(6～9節) \* もしボアズに断られたら、ルツもナオミも責任を問われる。

① ナオミに言われた通り、眠っているボアズの足元に入るルツはどんなことを思ったでしょう。

→

② 「あなたの覆いを、あなたのはしための上に広げてください。」とは何を表していますか。

→

③ 「あなたは買い戻しの権利のある親類です。」とは何を意味していますか。

→

3. 「ボアズの決断」(10～18節) \* ボアズはルツの誠実な思いを受け止めた。

① ボアズの「娘さん、もう恐れる必要はありません」にはどんな思いがこめられているのでしょうか。

→

② ボアズの「主は生きておられます」(13節)にはどんな思いが込められているのでしょうか。

→

③ 大麦六杯を背負って帰ってきたルツを見て、ナオミはどう思いましたか。

→

【適用と分かち合い】

1. 姑ナオミにはどんな願いがあったのでしょうか(2つ)。
2. ルツがボアズの足元に入ることができたのはなぜでしょう。
3. 信仰深いボアズはどんな結婚を望んでいたのでしょうか。